

2023年12月事業部会「定例会議(林の日)」議事録

日 時：2023年12月14日(木) 17:45～19:30

2023.12.17作成 12.22改

場 所：世田谷区宮坂区民センター 3階 中会議室

参加者：23名(以下敬称略) 長谷川守、脇本和幸、室伏憲治、氏家清高、古谷一祐、三井大造、中林和雄、横井行男、小川里花、榎田幹夫、枝澤修、横尾敏弘、飯島雅巳、栗原悦郎、臼井治子、浅井記子、宮入芳雄、藤岡眞、萩原卓、立川洋一、西出幸子、鍛冶健二郎、篠原直樹

欠席者：(事前連絡) 福田正男、丸山正、飯塚義則、芝原久

議事進行：脇本和幸 書記：臼井治子

議 題

(以下敬称略)

(1) 全体(確認・連絡・報告事項)

1. 森の日報告 12/21(木)森の日・開催予定 (長谷川)
 - ・総会のリハーサルでハイブリッド開催(ズームとライブ)予定
 - ・各部会の今年度の見込み決算・来年度予算(案)の報告
 - ・活動支援助成金のプロジェクトチームの中間報告
2. 事業部会HP、MLの現況等について(代読：脇本) (飯塚)
 - ・ML登録者数161名と先月と変わらない
 - ・案内は2024年1月21日まで掲載済み。
 - ・11月12月のアクセス数は562件で、前月の681件と比べて減っているが、冬は減る傾向にある。
3. 事業部会収支見込及び来年度予算について(2月事業部会で最終報告・案)
 - ・交付金304,000円：交通通信費、スタッフ手当は消化済み。活動促進費は94,000円返却予定。通信運搬費、消耗品備品費、外注費は、8,000円程度未消化。名札ケースをしっかりとものに代えたい。班の色は紐の色で区別できるものがよいのでは。
 - ・事業部会固有収支：イベント等協力金収入は、若干プラスの見込み、支出も予定通りの見込み。2月事業部会で最終報告・案を提出。
4. その他
 - ・篠原さんからの提案：FITのHPをもっと読者を引き付ける魅力あるものにしたい。コミュニケーションが一方通行ではないかと考える。テーマを決めて魅力的なHPを作っていきたいと思う。シンプルに分かりやすく、見やすくして新規の客を入れていくことが必要と思う。HPのアンケートで22件ほど記入があるがここで書かれている内容がリプライされているか。
 - ➡ 一部の人にはリプライしている(鍛冶)今後、ふれあいイベント等をトップページに持っていくことはできるのか(長谷川)
 - ➡ 出来ると思う(鍛冶)事業部でこんなものを載せてほしいというものをHPにのせていくため、どんなイメージでどんなことをしてほしいかという、皆の要望を出す必要あり。篠原さんが考えていることをMLに流し、それを事業部会で検討したうえで広報部会に提案。(脇本)

(2) 各担当の報告等について

1. 森林ふれあい推進事業
 - 1) 体験参加者の応募状況について (脇本)
 - ・令和4年吉田昇さん 春の健康ハイク(3/14実施予定) 体験参加予定
 - 延べ5名の方が体験参加をしたがすべて令和4年の方
 - 2) 2024年度森林ふれあい推進事業イベント 事前検討会議の報告 (脇本・長谷川)
 - ①12月8日に実施。詳細は議事録参照のこと。(22件の提案)
 - 企画会議(2024年1月14日)で、提案した主幹事と事業部会長、副で確認をし、森林ふれあい推進センターに提出予定である。内訳は親子観察会3回、他のイベント19回(新規1, 継続18)、その中で主幹事交代が8件あり。
 - ②令和4年の方からの親子観察会についての提案
 - ・現在6月、10月、3月と年3回行っている親子観察会だが、3月は年度末で参加者も少なくFIT会員も減少している。親子観察会を運営する新会員も働いている人が多いので、1回の観察会の下見等で4回の休みが潰れ、それが3回で年12回にものぼり、きついため、今後3回の親子観察会を2回に減らしてほしい。

- ➡ 親子観察会は新期の方が観察会の運営方法を習得するための機会でもあるし、天候その他で中止になることもあるので、年3回が望ましい。
 - ・スタッフ人数も多く、班長とスタッフで謝金を分けた場合の金額が少ないため、事業部会で補填したらどうか？
 - ➡ 親子観察会の班長とスタッフの謝金は以前は無い。参加費はその期に必要なことに使用する事が好ましいと考える。今後はその旨をマニュアルに記載する。
 - ➡ 親子観察会の参加費は運営した期で自由に使って構わない。また、募集人員は一覧表やチラシの人数と合わせてほしい。そのあたりの矛盾がないように（長谷川）
 - ・親子観察会の謝金は無しと言っていたが、班長はスキルやノウハウが必要なので、今後は謝金も考えたらどうか？
 - ➡ 親子観察会の初めの頃はそういった場を持つことが目的だったし、謝金も無しだった。自分たちがプロだという自覚を持ってやるなら謝金（交通費）は必要だと思う（宮入）
 - ➡ 自分たちの頃（2014年）は班長は前年度の期の人たちがやるのが恒例だった（槇田）
- （令和4年からの提案に対する回答）

- ・親子観察会は年3回実施
- ・班長には謝金は払わない（今後もこのスタンスは変えない）

③実施マニュアルの見直し等について

（脇本）

- ・**募集人員**はマックス40名だが、主幹事はそのイベントの目的、時期、アクセス法などを鑑みて、40名ではそぐわないと考えたら、それぞれの主幹事の判断で決定してほしいとマニュアルに入れる
- ・**事業部協力金**は現在20名以上の参加者がある場合は4,000円、19名以下は2,000円となっているが、来年度から参加費の一律5%とする。**主幹事手当**は20名以上4,000円、19名以下2,000円だが、主幹事は参加人数にかかわらず仕事量は同様にあるため、一律3,000円とする
- ・**応募方法**は往復はがき、ホームメイラー、QRコードなどイベントに即した応募方法とする
- ・一覧表とチラシ等の内容は一緒としているが、やむを得ない理由でコースを変更することもあるため、「安全確保のためコースの変更もあり」と付け加えてほしい（槇田）

（実績）

- 1) 晩秋の高尾山 色づいた木々やムササビの飛翔を観察するハイキング 2023. 11. 18（鍛冶）
 - ・募集20名 応募者38名 キャンセル4名 参加者20名
 - ムササビも無事に観察でき、紅葉も見ごろだったので、参加者は概ね満足したようだった。下りケーブルを乗らずに暗くなった1号路を歩いて降りるナイトハイキングとしたが、参加者全員ケガもなく、無事ケーブル清滝駅まで歩くことができた。星も見え、参加者はナイトハイキングを楽しんでいた様子であった。ふれあいイベントに初めて参加される方が半分以上で、参加者の平均年齢も55歳と若かったので、ふれあい事業のアピールにも役立った。
- 2) もう一つの高尾・南高尾山稜を訪ねる 2023. 11. 22（篠原）
 - ・40名募集で参加者29名。スタッフ7名で実施した。過去にふれあい推進事業に参加した方の人数は13名と多かった。アンケートでトイレがないということが事前に分かればよかったとコメントが2名あったため、今後参加申し込み時にそれについて確実に伝える事としたい。アンケートでは参加者の満足度も多かった。今回は次回以降のイベントのチラシも参加者に配った。
- 3) 奥高尾 初冬の眺望を楽しむハイキング 2023. 12. 5（脇本）
 - ・40名募集で応募者30名、参加者20名、スタッフ7名で開催。曇りで肌寒い天候だったので、景信山や小仏城山での休憩や昼食時には、参加者が体を冷やさない様、注意を促した。また小仏城山からの下りの北東尾根は、昼食後で一日の疲れも蓄積しており、落葉で道が見えない所もあるので、班長やスタッフで注意を促す声掛けをしながら慎重に下った。お陰で誰一人転ぶ人もなく、全員が無事に予定していた15:13のバスに乗車できた。

（予定）

- 1) 氷の華「シモバシラ」と富士山の展望を楽しむハイキング 2024. 1. 9（室伏）
 - ・現在22名の応募あり。あと2週間あるので、応募者が増えることを期待する。雪などが降らなければと思う。
- 2) 相模湖から小仏城山を経て高尾山へ真冬のハイキング 2024. 1. 23（藤岡）
 - ・現在9名の応募あり。昨年は30名の参加申し込みがあった。マスコミは朝日新聞の多摩版、朝日マリオンなどに掲載予定。昨年の冬のイベントに参加した方にダイレクトメールを送る予定。
- 3) 魅力満載 冬の高尾山を歩く 2024. 2. 6（三井）
 - ・現在3名の申し込みあり。これは11月22日の篠原さん担当のふれあいの時にチラシを配ったことで申し込んでくれたようだ。今後は昨年申し込んだ方にメールするとともにマスコミにも依頼予定。

- 4) 春の健康ハイキング～北高尾の森で春を探そう～ 2014. 3.14 (中林)
 ・小下沢林道が工事のため通れず変更を余儀なくされていたが、今年は工事大丈夫のようなので、当初から小下沢林道を通る計画である。まだ工事は続いているようだがトイレも使えるようである
- 5) 高尾山 春の親子自然観察会 2014. 3.24 (西出)
 ・日影沢～いろはの道～4号路～林野庁殉職者慰霊碑というコースだが、4号路が工事中となり、コースを変更する可能性あり。今回もQRコードをチラシに入れる予定である
 ・今回は京王ニュースに参加者募集掲載を依頼したところ、好意的に受け入れていただき、3月号編集会議に掛けて頂く事となり、早めに持ってきてほしいとのことで1ヶ月早い確認となった。
 ・ビジターセンターの情報では1/6～3/31、4号路は通れないということであるが、情報が錯綜しているので、今後の工事の様子を確認してコースを決定する。
 ・参加者の持ち物で保険証の写しとあるが、写しではなくて保険証と書いてもいいのではないかと
2. 田園調布学園土曜プログラム (小川)
 (実績) 11月25日(土) 哺乳動物と野鳥の生き方を知る 主幹事：藤原
 (予定) 来年度の予定について
 ・来年度8講座、そのうち新規は1講座(クラフト横尾他)となる。
3. クラフト等イベント担当 (丸山・枝澤)
 (実績) 11月18日(土)、19日(日) 八王子いちよう祭り 主幹事：丸山
 ・テントが小さいものしかないということで、お日の森のテントを借りた。二日間で延べ151名が参加してくれた。クラフト等の内容は10品目。ヒヤリハットもなかった。
 (予定) 2024年3月3日(日) 浅川市民センターまつり 主幹事：栗原
 ・詳細はまだ何も決まっていない。
 「お日の森くらぶ」に浅川市民祭りの担当から問合せがあり、丸山さんの連絡先を伝えた。
4. 高尾山GC作戦 (楨田)
 (実績) 12月2日(土) 第151回 稲荷山コース 集合：森林ふれあい推進センター 8時30分
 ・参加者27名(一般22名, FIT 5名) 6班体制で実施
 (予定) 2024年1月6日(土) 第152回 日影沢コース 集合：高尾駅北口 8時20分
 ・ホームメイラーにて募集中
5. 低山はいかい (福田)
 (実績) 11月22日(水) 御岳山の紅葉を楽しむ(代読：長谷川) 主幹事：福田
 ・14名参加。天候は快晴で気温20℃以下の寒い一日だった。長尾平からの下りはちょっと過酷、足元に気を付けて前進となったが、目的の七代の滝に出会い、その景観を堪能した
 (予定) 12月20日(水) 陽だまりの都留アルプス縦走 主幹事：小勝
 ・15名の参加予定(スタッフは除く)
6. 講師派遣 (中林) 別紙参照
 (実績) 11月27日(月) 八王子市立第三小学校・高尾山登山 主幹事：三井
 ・5年生 生徒136名 教師10名 FIT13名(班長12名、アシスト1名)
 写真撮影を集合場所の599ミュージアムで出発前に行ったため、出発が最大25分ほど遅れた。今回は写真撮影時間の確保のため、学校側の599ミュージアムへの到着時間を早める必要を感じた。
 ・保険に関しては個人負担だが、学校側が手配。
 (予定) 今年度は無し
7. 会計報告 別紙参照 現在残高 ￥267,550-
- (3) その他 特に無し

以上